

01

---

# 2026年3月期第1四半期 決算説明会資料

---

証券コード 6306

**日工株式会社**

取締役 管理本部長 川上 晃一

2025年9月5日



# 目次

- ◆ 2025年度1Q決算説明.....p.3-15
- ◆ トピック.....p.16
- ◆ 参考資料.....p.17-23
- ◆ 会社情報.....p.24-29

※ 本資料の増減数値は単位未満の端数処理により末端数値が決算短信と異なる場合があります。

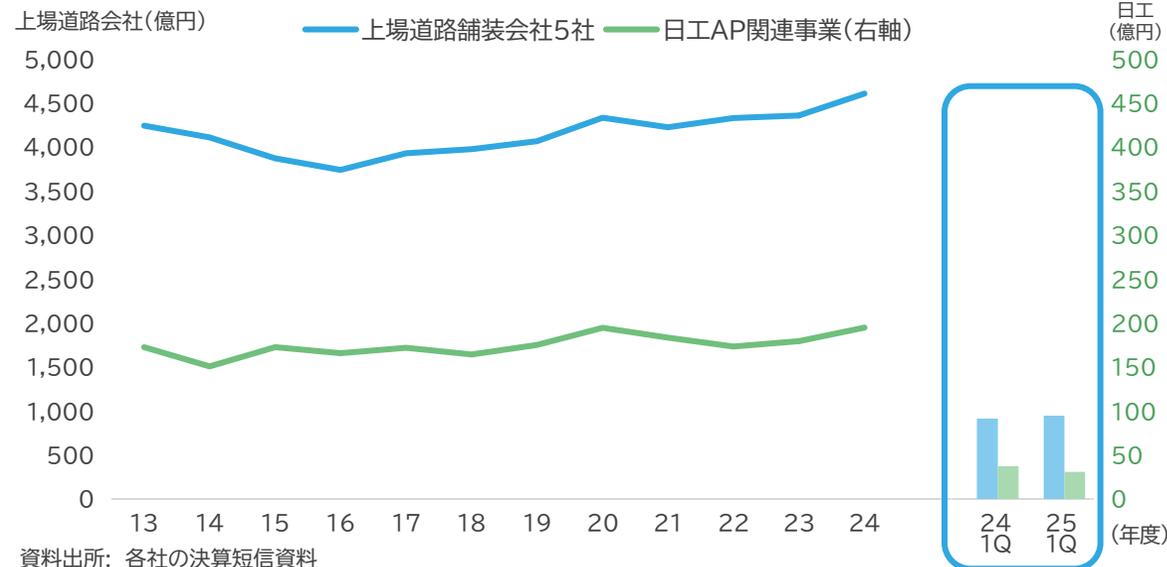
## 2025年度1Q実績

(単位:百万円)

1Q (4-6月)	実績	対前年同期	対前年増減率
売上高	8,294	△ 1,555	△ 15.8%
営業利益	△ 54	△ 516	△ 111.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 61	△ 398	△ 118.1%
受注高	10,404	△ 3,635	△ 25.9%

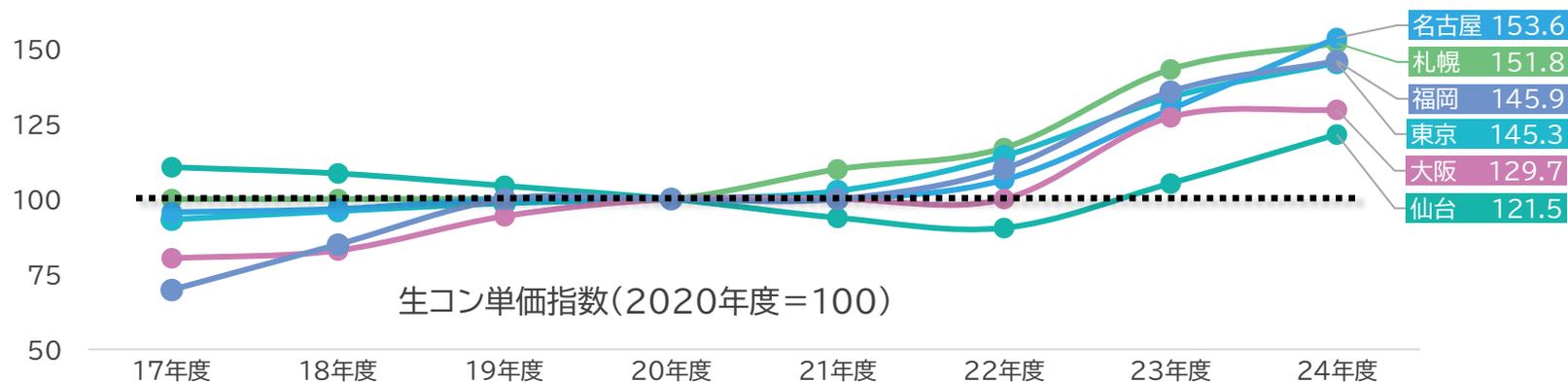
## 上場道路舗装会社(5社計)売上推移

AP



## 主要都市生コン単価指数

BP



資料出所: 一般財団法人 経済調査会

### ◆ AP事業環境:

- ・ 上場道路会社5社の売上は回復傾向継続。
- ・ 利益の回復については各社ごとにばらつき。
- ・ 海外事業は中国は底打ち感。

### ◆ BP事業環境:

- ・ 生コンクリートの出荷量は減少継続。
- ・ 生コンクリートの製造原価は上昇しているものの、単価もUPしており、ユーザーの設備投資意欲は旺盛な状態が継続。



BP関連事業： 2Qへのズレがあり、1Qの受注高が減少したものの、  
ユーザーの価格転嫁の効果で、プラント製品やメンテナンス需要も堅調で対前年比増。

▶ P.10 BP関連事業



環境及び搬送関連事業： 受注・売上とも増加。

▶ P.11 環境及び搬送関連事業



AP関連事業： 国内事業は受注高増加。売上高は補助金案件など2Q以降への期ズレがあり、減少。

▶ P.8~9 AP関連事業



破碎機関連事業： 受注・売上とも減少。

▶ P.12~13 その他事業(新セグメント)

- ◆ 売上高 : AP事業△6.5億円、BP事業+2.0億円、環境搬送事業+0.2億円、破碎機事業△3.6億円、製造請負事業△8.7億円、その他事業+1.0億円
- ◆ 営業利益 : APの期ズレ案件、製造請負事業の大型案件剥落などあり減少
- ◆ 受注高 : AP事業△9.6億円、BP事業△15.6億円、環境搬送+2.6億円、破碎機事業△0.5億円、製造請負事業△10.9億円、その他事業△2.0億円
- ◆ 受注残高 : AP事業△2.7億円、BP事業△7.9億円、環境搬送+7.2億円、破碎機事業△2.8億円、製造請負事業△6.4億円、その他事業△1.2億円

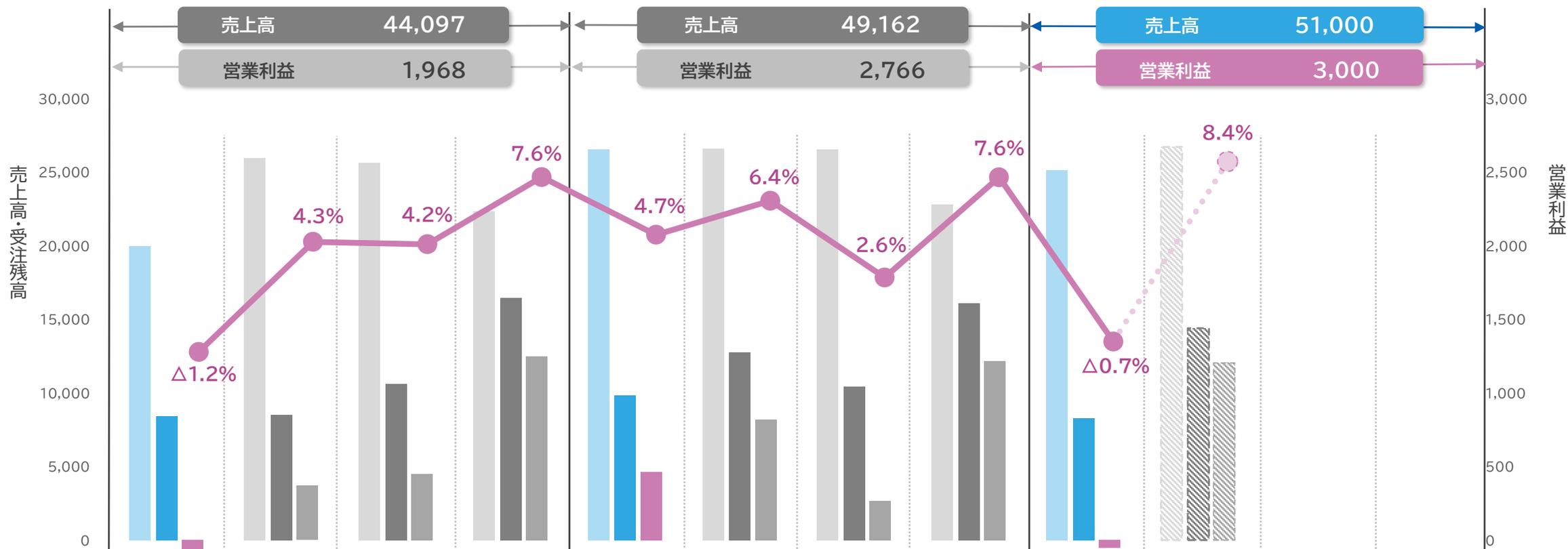
(単位:百万円)	2024年度			2025年度			上半期予想	通期予想
	1Q実績	上半期実績	通期実績	1Q実績	対前年同期	通期予想進捗率		
売上高	9,849	22,634	49,162	8,294	△ 1,555 △ 15.8 %	16.3 %	22,700	51,000
営業利益	462	1,280	2,766	△ 54	△ 516 △ 111.7 %	△ 1.8 %	1,150	3,000
営業利益率	4.7 %	5.7 %	5.6 %	△ 0.7%	△ 5.4 pp	—	5.1 %	5.9 %
経常利益	625	1,468	3,071	68	△ 557 △ 89.1 %	2.2 %	1,250	3,100
親会社株主に帰属する 四半期純利益	337	881	2,009	△ 61	△ 398 △ 118.1 %	△ 3.1 %	800	2,000
受注高	14,039	26,889	49,617	10,404	△ 3,635 △ 25.9 %	19.6 %	26,600	53,200
受注残高	26,560	26,626	22,826	25,150	△ 1,410 △ 5.3 %	—	26,726	25,026

# 2025年度 1Q業績ハイライト③

(単位:百万円)		2024年度			2025年度				
		1Q実績	上半期実績	通期実績	1Q実績	対前年同期	通期予想進捗率	上半期予想	通期予想
AP関連事業	売上高	3,746	8,979	19,480	3,087	△ 659 △ 17.6 %	15.8 %	8,500	19,500
	営業利益	179	498	976	△ 123	△ 302 △ 168.8 %	—	500	1,000
	営業利益率	4.8 %	5.5 %	5.0 %	△ 4.0 %	△ 8.8 pp	—	5.9 %	5.1 %
BP関連事業	売上高	2,217	6,142	14,266	2,425	+ 208 + 9.4 %	16.4 %	7,500	14,800
	営業利益	241	748	1,724	277	+ 36 + 14.9 %	14.6 %	1,000	1,900
	営業利益率	10.9 %	12.2 %	12.1 %	11.4 %	+ 0.5 pp	—	13.3 %	12.8 %
環境及び 搬送関連事業	売上高	772	1,433	3,254	793	+ 21 + 2.7 %	19.3 %	1,700	4,100
	営業利益	162	326	847	211	+ 49 + 30.3 %	24.8 %	350	850
	営業利益率	21.0 %	22.7 %	26.0 %	26.6 %	+ 5.6 pp	—	20.6 %	20.7 %
破砕機 関連事業	売上高	640	1,313	2,256	280	△ 360 △ 56.3 %	9.3 %	900	3,000
	営業利益	54	96	40	△ 61	△ 115 △ 213.0 %	—	0	150
	営業利益率	8.4 %	7.3 %	1.8 %	△ 21.8 %	△ 30.2 pp	—	0.1 %	5.0 %
製造請負 関連事業	売上高	1,550	2,593	4,802	678	△ 872 △ 56.3 %	18.8 %	1,700	3,600
	営業利益	229	369	645	99	△ 130 △ 56.8 %	24.8 %	180	400
	営業利益率	14.8 %	14.2 %	13.4 %	14.6 %	△ 0.2 pp	—	10.6 %	11.1 %
その他事業	売上高	922	2,171	5,101	1,028	+ 106 + 11.5 %	17.1 %	2,400	6,000
	営業利益	37	226	716	50	+ 13 + 35.1 %	5.6 %	220	900
	営業利益率	4.0 %	10.4 %	14.0 %	4.9 %	+ 0.9 pp	—	9.2 %	15.0 %

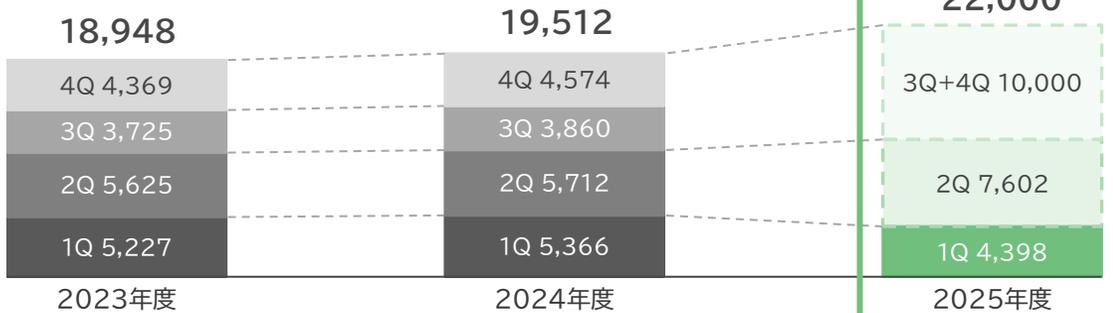
## 四半期別売上高・営業利益推移

(単位:百万円)

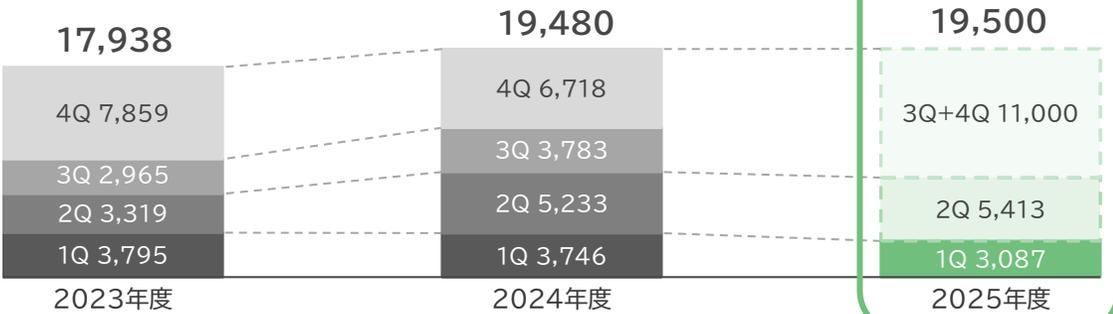


	2023年度				2024年度				2025年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q予想	3Q	4Q
■ 受注残高	19,987	25,986	25,642	22,371	26,560	26,626	26,582	22,826	25,150	26,726		
■ 売上高	8,446	8,536	10,637	16,478	9,849	12,785	10,436	16,092	8,294	14,406		
■ 営業利益	△99	368	449	1,250	462	818	267	1,219	△54	1,204		
● 営業利益率	△1.2%	4.3%	4.2%	7.6%	4.7%	6.4%	2.6%	7.6%	△0.7%	8.4%		

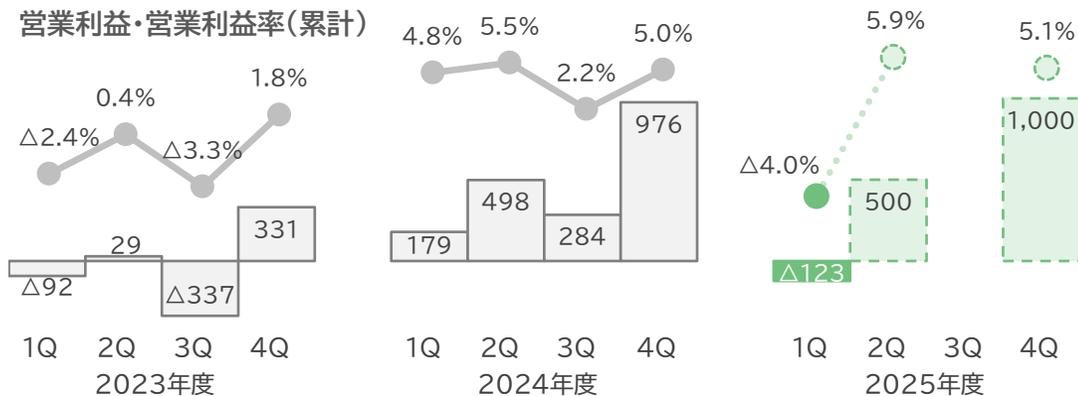
## 受注高 (単位:百万円)



## 売上高



## 営業利益・営業利益率(累計)



## 受注高 (対前年増減率△18.0%)

- + 要因 国内: メンテナンス・大型リニューアル案件・補助金活用の入替案件を中心に増加。
- △ 要因 海外: 中国: 高速道路工事が増加し、工事用プラントの受注が急増も、定置工場向け商談が遅延し減少。  
タイ: 中国メーカーによる低価格攻勢もあり、減少。

## 売上高 (対前年増減率△17.6%)

- + 要因 国内: メンテナンスサービスは堅調。  
海外: タイ: 戦略機種ACE2号機納入、対前年(24年4~6月)増。
- △ 要因 国内: 小型改造案件が中心となり、前年比69.0%減。  
地場ユーザーは補助金活用による入替案件が旺盛だが、2Q以降の売上中心。  
海外: 輸出: 部品が好調も、製品販売は一服。  
連結時期変更による変動。

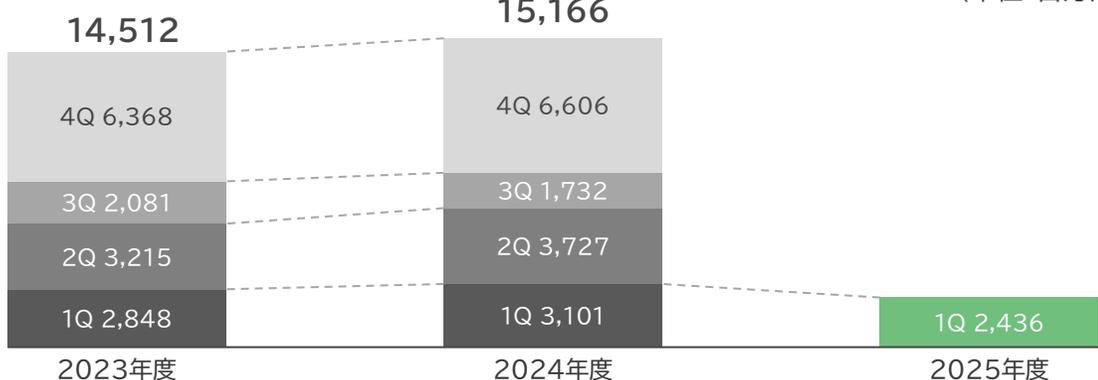
## 営業利益

- + 要因 海外: 輸出: 部品中心の売上となったことにより利益拡大。  
タイ: 固定費圧縮による損益分岐点の引下げを推進中。
- △ 要因 国内: 部分入替案件が中心となっており、入替案件は2Q以降が中心となる為、利益減。  
海外: 連結時期変更による変動。

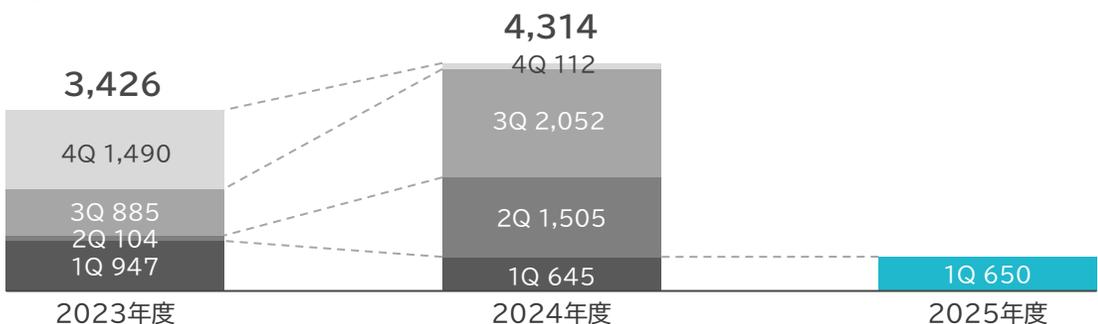
## 25年度見込

- 国内: 道路舗装会社は、設備の老朽化で維持費増が見込まれる。  
補助金や脱炭素投資拡大により受注・売上・利益は堅調に推移する見通し。
- 海外: 輸出: 引き続き台湾の好況、部品出荷を中心に売上は前期並みを維持。  
但し、台湾大型案件により利益率は低下、受注はベトナム引合増により増加の見通し。  
中国: インフラ投資増で設備投資は回復傾向。定置工場向けは販売競争が激化し厳しいものの、高速道路工事向け受注が好調。新製品を来年に向け開発中。  
タイ: 新型プラントACE130(中型機種)を市場投入、高機能リサイクル設備とのセット販売で競争力を強化。さらにACE160(大型機種)を投入し、ベトナム向け販売を強化する。

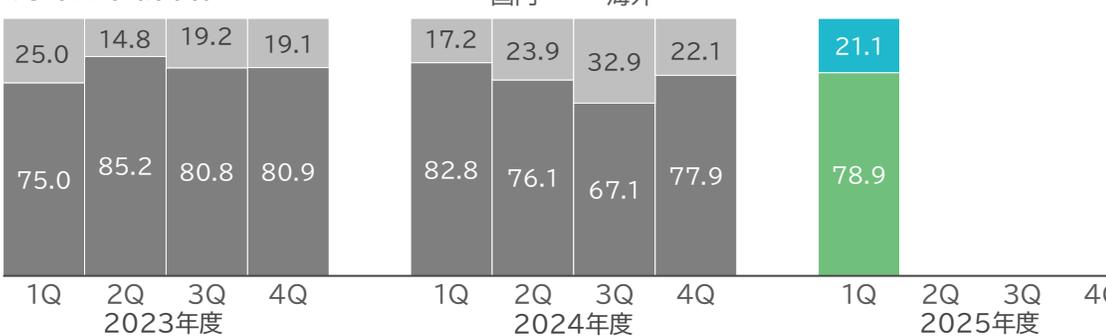
## 国内売上高 (単位:百万円)



## 海外売上高



## 海外比率(累計) (%)



## 国内売上高 (対前年増減率 $\Delta$ 21.4%)

- ・ プラント製品 対前年増減率  $\Delta$  69.0%
- ・ メンテナンス 対前年増減率 + 4.5%

## 海外売上高 (対前年増減率 +0.8%)

- 輸出 : 対増減率 + 217.0% (70百万円  $\rightarrow$  222百万円)  
ベトナムに1台納入。  
受注は台湾における中国メーカー攻勢等により減少。  
今後のベトナム案件受注に向けて拡販中。

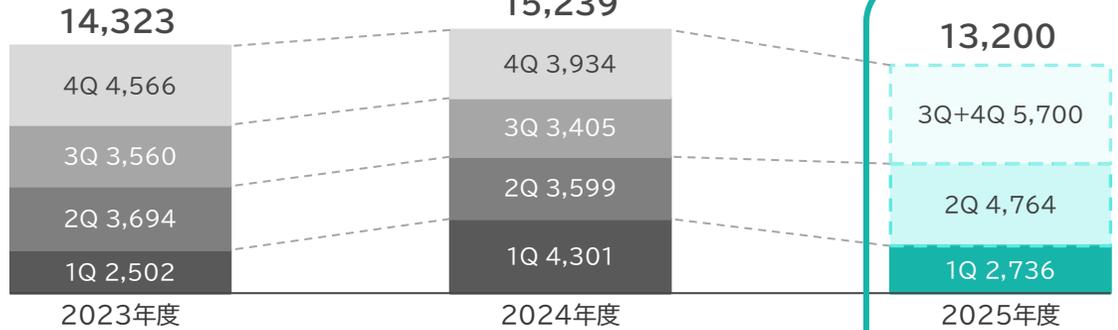
★ 海外の3社(上海・NAT・GMT)は、いずれも2025年1~3月累計および3月末時点の数値を使用。

- 中国 : 対増減率  $\Delta$  50.8% (553百万円  $\rightarrow$  272百万円)  
政府の経済刺激策により高速道路工事用プラントは好調も、プラント需要全体に力強さはない。コスト削減に加え新型プラントの市場投入による差別化を図り売上・利益確保に努める。
- タイ : 対増減率 + 779.7% (17百万円  $\rightarrow$  154百万円)  
新型プラントACEの納入とタイ国家による再生合材使用推進政策によりリサイクル設備の需要増。固定費圧縮による損益分岐点の引下げを推進中。

## 海外受注高・受注残高

	受注高	受注残高
中国(日工上海)	<u>6.7億円</u> ( $\Delta$ 59.1%)	<u>25.2億円</u> ( $\Delta$ 28.3%)
タイ	<u>1.0億円</u> ( $\Delta$ 58.1%)	<u>1.3億円</u> ( $\Delta$ 84.1%)
輸出 (※外販金額:台湾、ベトナム、部品)	0.8億円 ( $\Delta$ 48.1%)	2.8億円 ( $\Delta$ 20.0%)

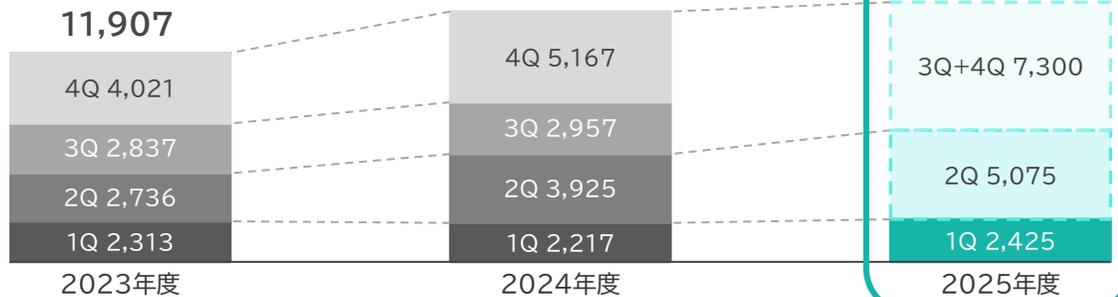
## 受注高 (単位:百万円)



## 受注高 <対前年増減率 △36.4%>

△ 要因: 2Qへのズレにより減少するも引き続き設備投資需要は旺盛。

## 売上高 (単位:百万円)



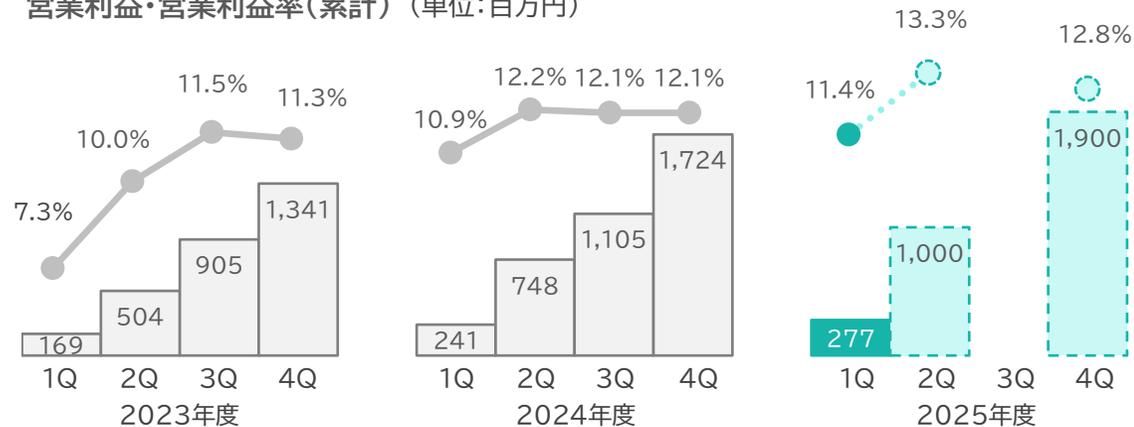
## 売上高 <対前年増減率 +9.4%>

【プラント製品】: 対前年増減率 + 15.8%

【メンテナンス】: 対前年増減率 + 5.6%

+ 要因: 1Qは大型製品が計画通りに進み増加、またメンテナンスも増加。

## 営業利益・営業利益率(累計) (単位:百万円)



## 営業利益

・ 営業利益: 対前年増減率 + 14.9%

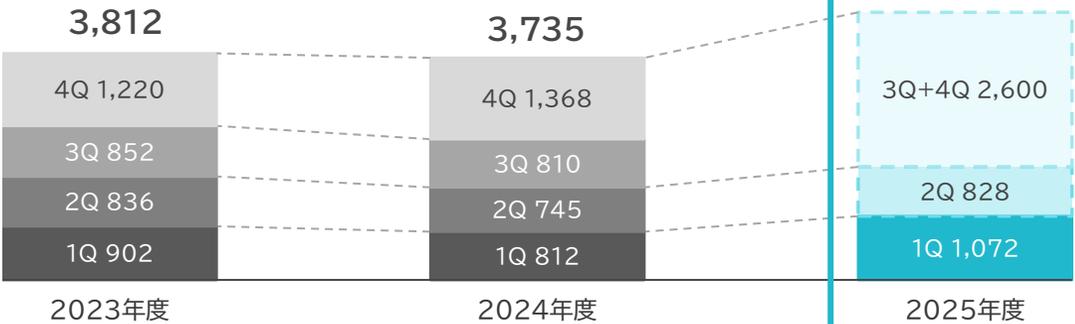
・ 営業利益率: 対前年増減 + 0.5pp

+ 要因: 価格高騰部品の価格転嫁が浸透したため。

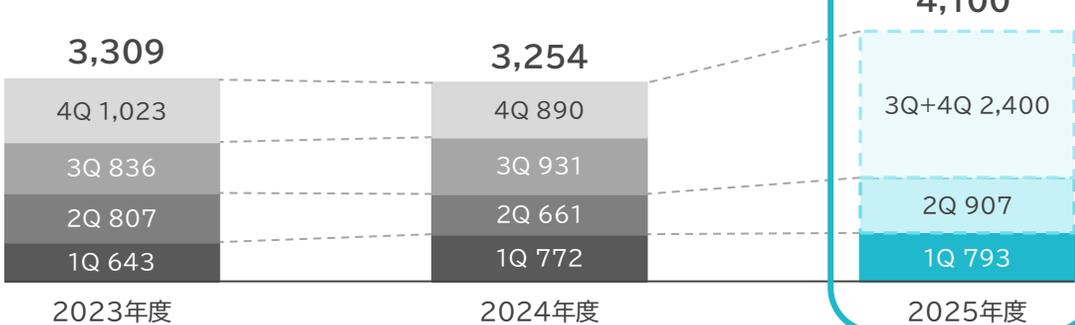
## 25年度見込

前期末は前年を上回る受注残高を計上し、25年度は増収増益を見込む。  
生コン業界では原材料高騰分の価格転嫁が進み、業績堅調。  
設備投資・メンテナンス意欲も引き続き旺盛で、高水準の安定需要が期待される。

## 受注高 (単位:百万円)



## 売上高 (単位:百万円)



## 受注高 (対前年増減率 +32.0%)

+ 要因 環境: 鉄道向けバラスト交換設備と産廃リサイクル設備等の受注が有り順調に推移。

## 売上高 (対前年増減率 +2.7%)

+ 要因 環境: 予定を上回る状況で推移。  
搬送: ほぼ予定通りに推移。

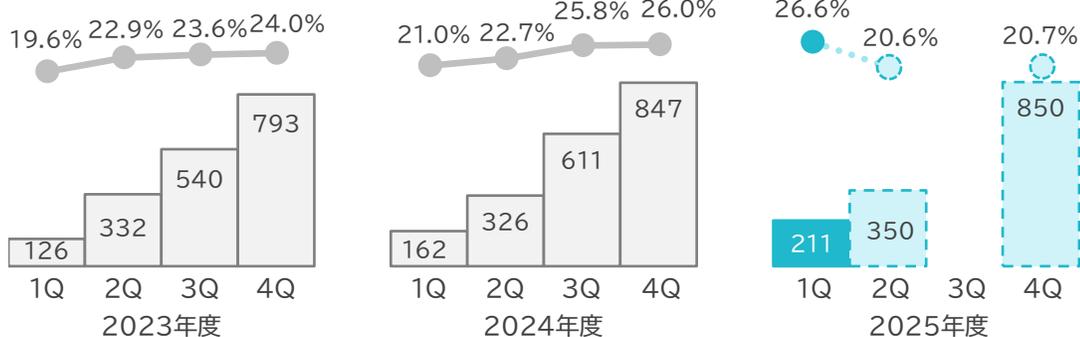
## 営業利益

- ・ 営業利益: 対前年増減率 + 30.2%
  - ・ 営業利益率: 対前年増減 + 5.6pp
- + 要因 環境: ほぼ予定通りに推移。  
搬送: 案件増加が寄与。

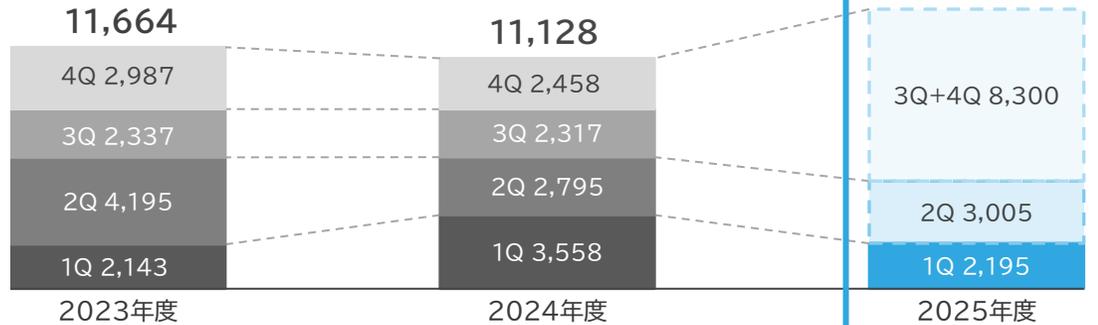
## 25年度見込

環境: ・ SL塗布装置3件納入。引き合い複数あり。  
(開発) ・ 鉄道向けバラスト交換設備案件は25年度に1件納入(約4億円)、26年度も1件受注済み(約4億円)、29年度まで年1件の継続予定。  
・ 民間向け大型リサイクル設備(約3億円)も1件受注。  
・ 道路陥没や土砂災害対策に伴い、地盤改良用の流動化処理設備や固化材製造設備の引き合いが増加中。  
搬送: 大型案件が増加傾向。通期売上も予定通りを見込む。

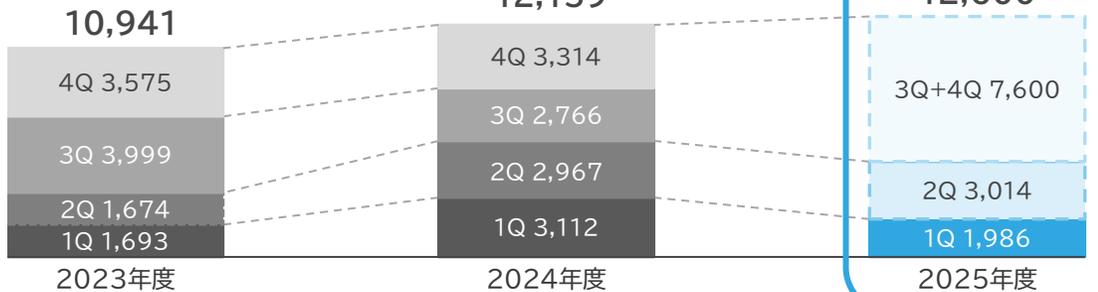
## 営業利益・営業利益率(累計) (単位:百万円)



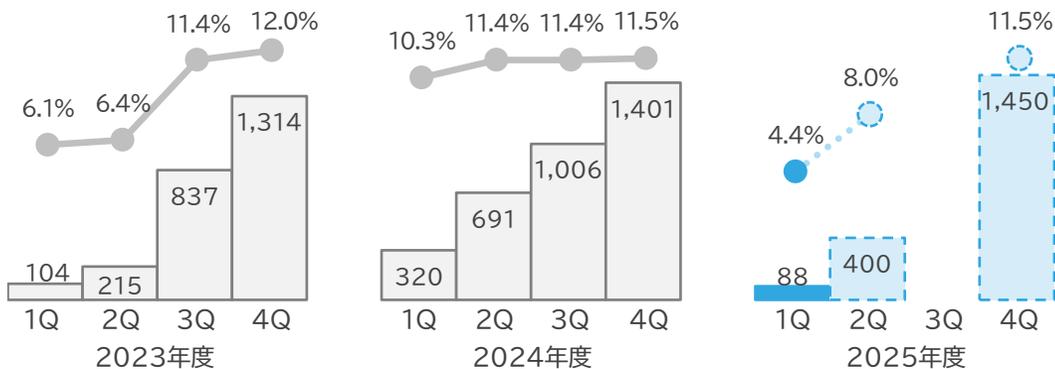
## 受注高 (単位:百万円)



## 売上高 (単位:百万円)



## 営業利益・営業利益率(累計) (単位:百万円)



## 受注高

- ・ 破碎機関連事業: 対前年増減率  $\Delta$  15.6%
- ・ 製造請負関連事業: 対前年増減率  $\Delta$  58.6%
- ・ その他事業: 対前年増減率  $\Delta$  15.7%

## 売上高

- ・ 破碎機関連事業: 対前年増減率  $\Delta$  56.3%
- ・ 製造請負関連事業: 対前年増減率  $\Delta$  56.3%
- ・ その他事業: 対前年増減率 + 11.5%

## 営業利益

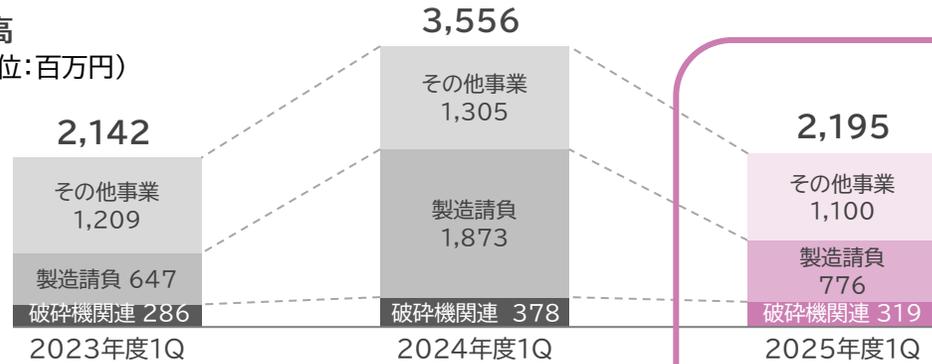
- ・ 破碎機関連事業: 対前年増減率  $\Delta$  213.0%
- ・ 製造請負関連事業: 対前年増減率  $\Delta$  56.8%
- ・ その他事業: 対前年増減率 + 35.1%

## 25年度見込

- ・ 破碎機関連事業: 国内需要は好調で、販売力とメンテナンス体制を強化し、早期受注に注力。(モバイル) 新型移動式土質改良機の引き合い増加。
- ・ 製造請負関連事業: 受注、売上ともに前期の大口径案件の反動により減少見込みで、一昨年度と比べ若干増の見込み。市況は低調な雰囲気であるが、特殊、短納期など小規模案件は多く、収益率は維持/伸長の見込み。
- ・ その他事業: 人手不足や建設資材高騰により、着工遅れが目立つが、公共投資は底堅く推移し、建設用仮設機材レンタル市場に価格UPが浸透し、購入意欲は徐々に回復傾向。又、仮設機材センター向けの省人化・省力化設備への引合も増加傾向。

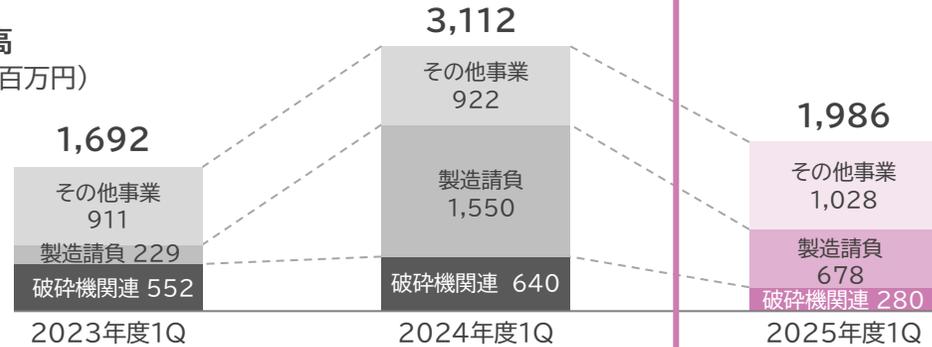
## 受注高

(単位:百万円)



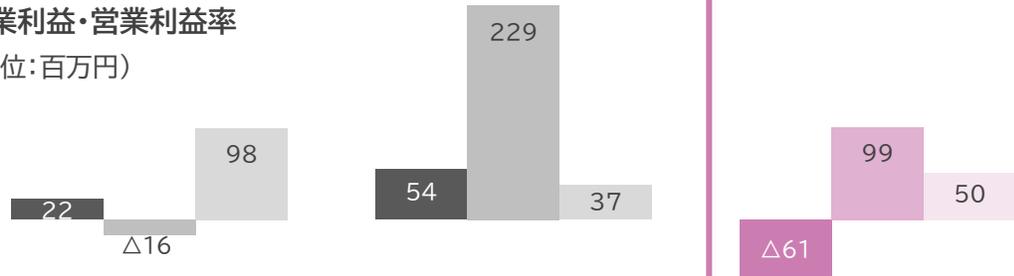
## 売上高

(単位:百万円)



## 営業利益・営業利益率

(単位:百万円)



営業利益率	2023年度1Q	2024年度1Q	2025年度1Q
破碎機	4.0%	8.4%	△21.8%
製造請負	△7.1%	14.8%	14.6%
その他	10.8%	4.0%	4.9%

## 受注高

- ・ 破碎機関連事業: 前年同期 △59百万円  
 【モバイルプラント】 前年同期 3台 223百万円 → 5台 264百万円  
 【定置式破碎機】 前年同期 9台 144百万円 → 5台 81百万円  
 ※今期1Qで想定していた海外向複数台案件の方針変更による受注遅れもあり減少
- ・ 製造請負関連事業: 前年同期 △1,097百万円  
 【宇部興機】 前年同期 △1,259百万円  
 【松田機工】 前年同期 +18百万円

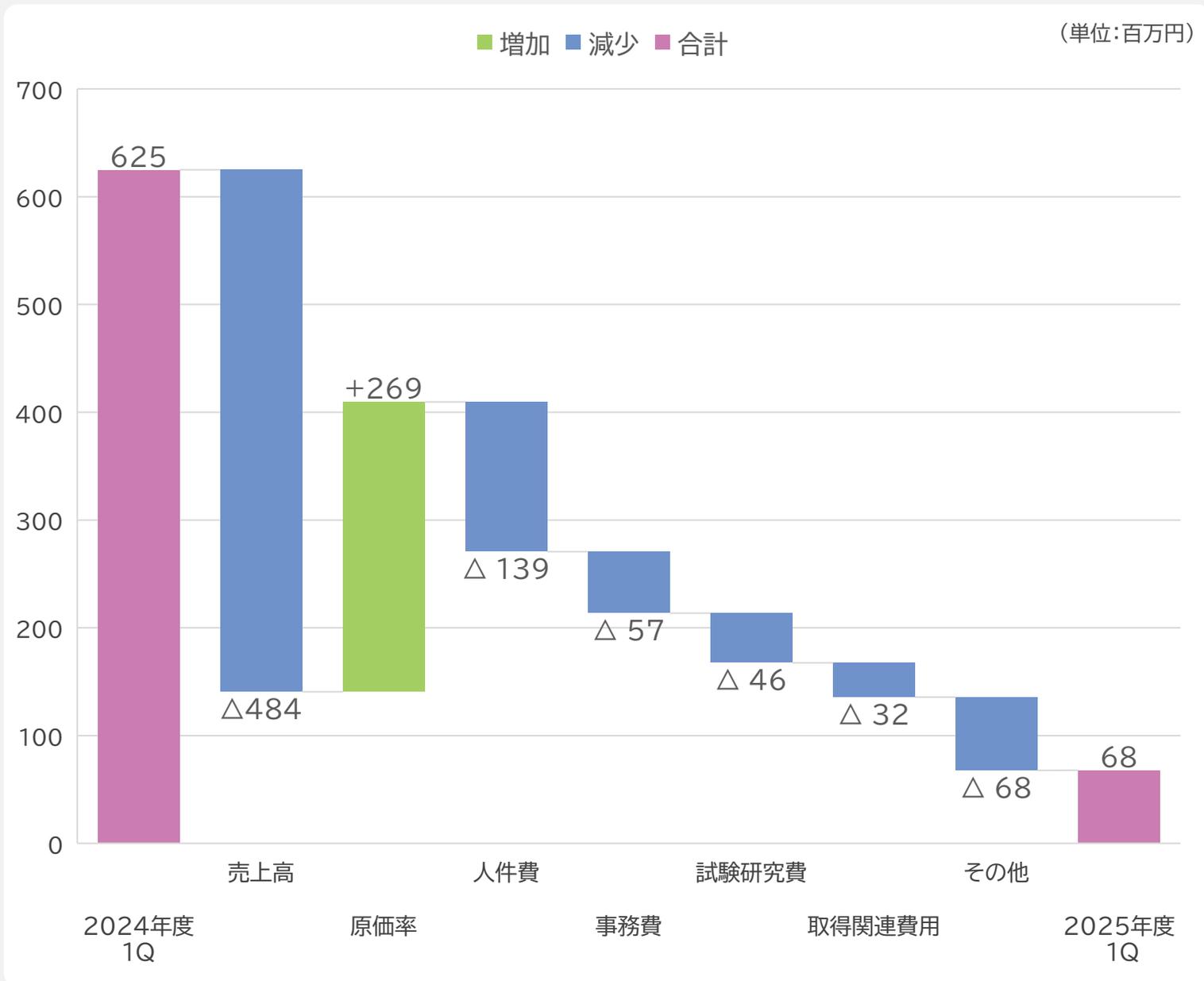
## 売上高

- ・ 破碎機関連事業: 前年同期 △360百万円  
 【モバイルプラント】 前年同期 8台 560百万円 → 4台 206百万円  
 ※引合案件の受注遅れにて減少  
 【定置式破碎機】 前年同期 5台 85百万円 → 5台 84百万円  
 ※前期のような大型機の売上がなかったが、部品売上増加によりカバー。
- ・ 製造請負関連事業: 前年同期 △872百万円  
 【宇部興機】 前年同期 △950百万円  
 【松田機工】 前年同期 △38百万円  
 前期の大型案件剥落により売上高減となったが、ベース売上は堅調。
- ・ その他事業  
 【仮設機材】  
 自社オリジナルアルミ製品の販売が減少(省力化機材): 前年同期比 △111百万円  
 レンタル需要の増加: 前年同期比 +9百万円  
 省人化省力化機械の需要が増加: 前年同期比 +2百万円

## ★その他事業の売上構成

- 仮設機材 14.6%、 防水板・水門 7.6%、
- 土農工具 9.4%、 開発・外販 13.4%、 他 55.1%

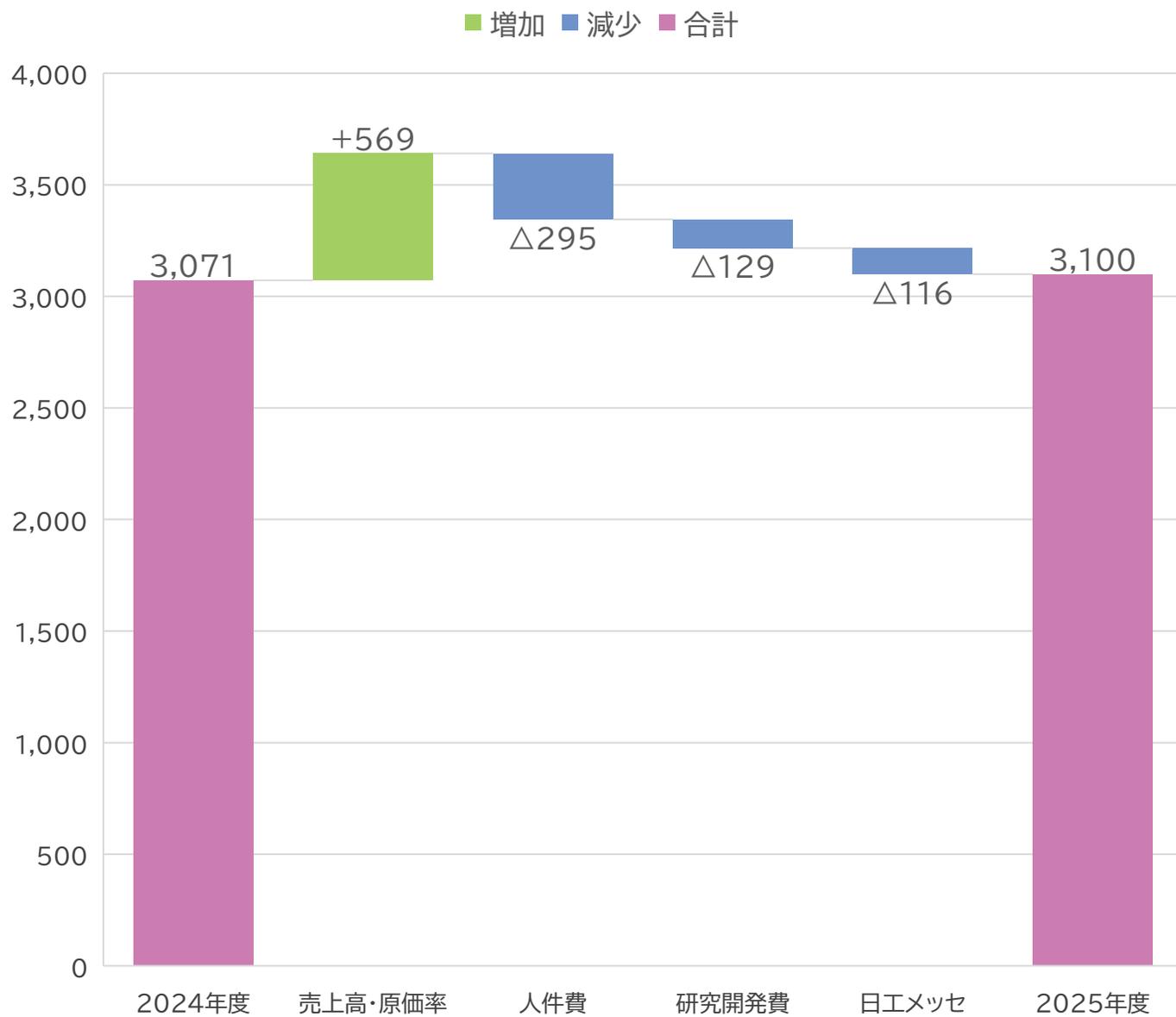
# 2025年度 1Q 経常利益 増減要因分析



(単位:百万円)

項目	影響額	内容
売上高	△484	売上高の減少 △1,555百万円
原価率	+269	原価率改善(労務費除く) 57.8%→52.4%
人件費	△139	人員増、ベースアップ
事務費	△57	システム利用料増
試験研究費	△46	開発費用の増加
取得関連費用	△32	日工藤原電機の買収
その他	△68	減価償却費の増加 △17 賃借料 △10 旅費交通費 △10 など

# 2025年度通期 経常利益 増減要因分析(予想)



(単位:百万円)

項目	影響額	内容
売上高・原価率	+569	売上高の増加・原価率改善(労務費除く)
人件費	△295	賃金・賞与アップ
研究開発費	△129	開発費用の増加
日エッセ	△116	展示会開催

**INFORMATION**

— 会 期 —  
**2025.10.20 MON - 10.31 FRI**  
※本展示会へのご参加は、担当営業までお問い合わせください。

— 会 場 —  
**日工株式会社 本社工場**  
〒674-8585 兵庫県明石市大久保町江井島1013-1  
 TEL:078-947-3131(代) FAX:078-947-3638

www.nikko-net.co.jp

**NIKKO GROUP**  
 NEW PRODUCTS EXHIBITION  
**2025**  
 10.20 MON. - 10.31 FRI.

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

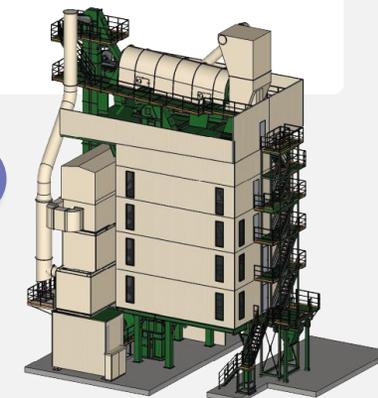
■ JR大久保駅 ……徒歩約20分  
 ■ 山陽電鉄江井ヶ島駅 ……徒歩約10分  
 ■ JR西明石駅 ……タクシー約15分

コンセプト:NIKKO EXPO 2025  
 ～一步先行く未来社会のデザイン～

開催日程 :10月20日(月) ～ 10月31日(金)

開催場所 :日工明石本社工場

AP・BP コンセプトモデル & モバイルプラント

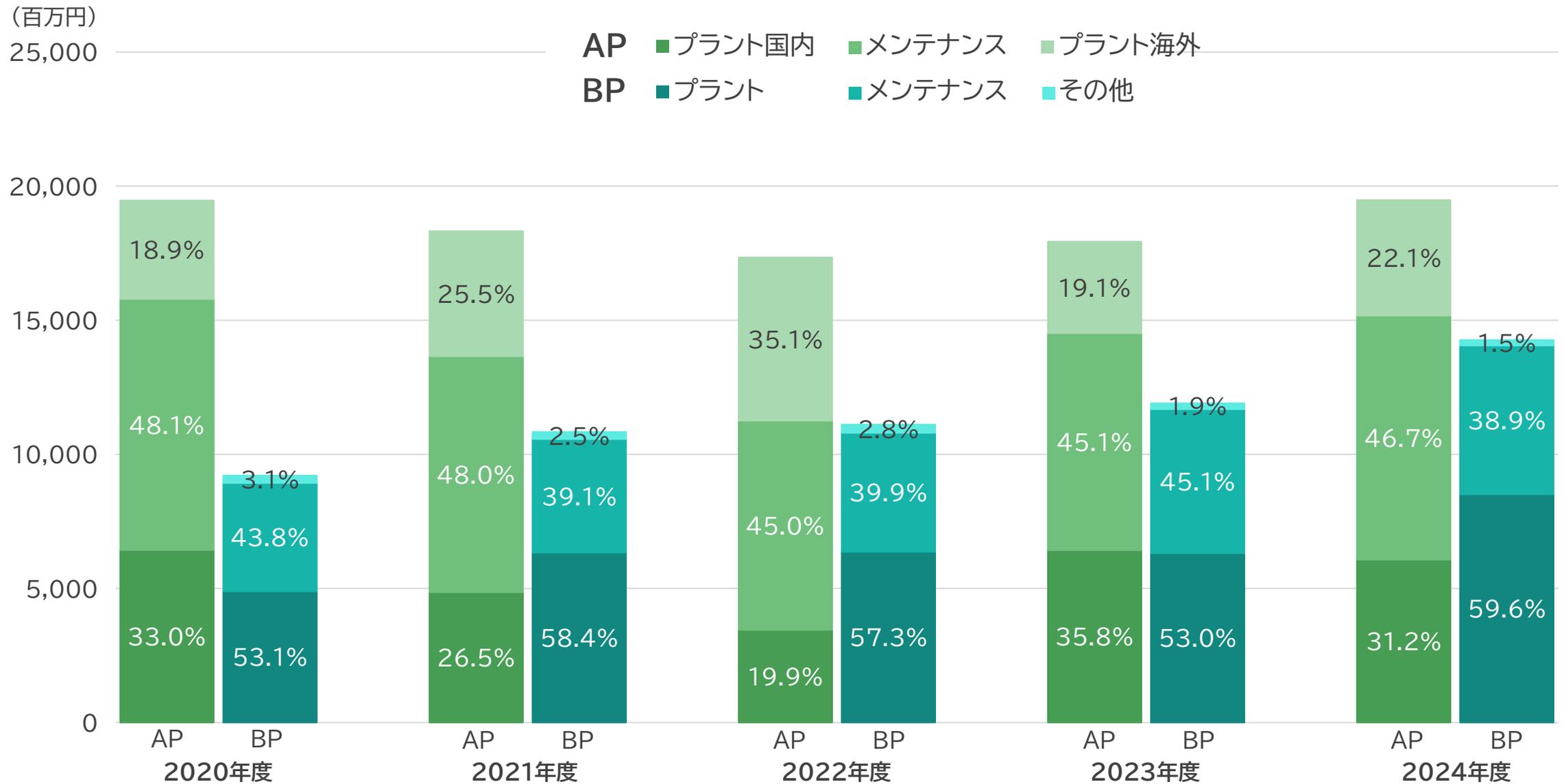


新型ミキサ、各種バーナーの開発製品などの実機

脱炭素・DX取り組みなどを展示



# AP及びBPの売上高構成

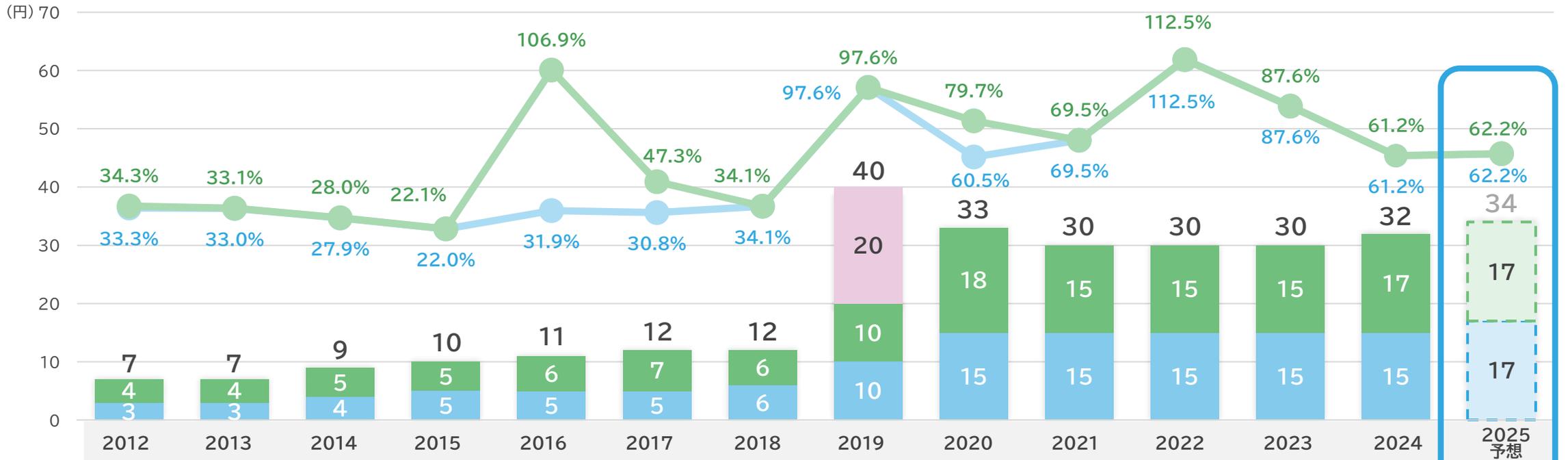
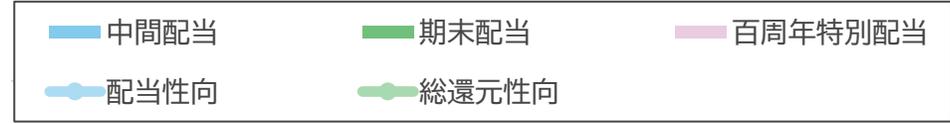


# バランスシートの推移

(単位:百万円)		2024年度末	2025年度1Q	増減	増減の主な要因
資 産	流 動 資 産	40,126	38,977	△ 1,149	増加: 仕掛品 +1,362百万円 商品及び製品 +1,126百万円 現金及び預金 +650百万円 減少: 売掛金 △4,521百万円
	有 形 固 定 資 産	15,305	15,410	+ 105	増加: 投資有価証券 +374百万円
	無 形 固 定 資 産	1,198	1,233	+ 35	建設仮勘定 +299百万円
	投 資 其 他 の 資 産	7,094	7,493	+ 398	減少: 建物及び構築物 △125百万円
資 産 合 計		63,725	63,115	△ 610	
負 債	流 動 負 債	21,515	21,589	+ 74	増加: 契約負債 +1,747百万円 未払金 +386百万円 減少: 支払手形及び買掛金 △531百万円 未払法人税 △454百万円 賞与引当金 △434百万円
	固 定 負 債	7,649	7,664	+ 15	
純 資 産 合 計		34,560	33,861	△ 699	増加: その他有価証券評価差額 +252百万円 減少: 利益剰余金 △715百万円 為替換算調整勘定 △276百万円
1株当たり純資産 (円 銭)		897.73	879.06	△ 0.67	

## ■ 2026年3月期の配当金予想34円(中間17円、期末17円、配当性向62.2%)

今中計期間においても  
**配当性向60%以上**とする方針



自社株買い	9	1	2	1	1,006	246	-	-	400	-	-	-	-	-
自社株消却	-	-	-	-	-	752	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	881	888	1,348	1,896	1,340	1,490	1,345	1,588	2,082	1,649	1,020	1,312	2,009	2,100
配当性向	33.3%	33.0%	27.9%	22.0%	31.9%	30.8%	34.1%	97.6%	60.5%	69.5%	112.5%	87.6%	61.2%	62.2%
総還元性向	34.3%	33.1%	28.0%	22.1%	106.9%	47.3%	34.1%	97.6%	79.7%	69.5%	112.5%	87.6%	61.2%	62.2%

★ 2019年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しており、分割後の配当金額に統一して記載しています

# 売上高・利益・キャッシュフロー等の推移

(単位:百万円)	2023年度				2024年度				2025年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	8,446	8,536	10,637	16,478	9,849	12,785	10,436	16,092	8,294			
AP関連事業	3,795	3,319	2,965	7,859	3,746	5,233	3,783	6,718	3,087			
BP関連事業	2,313	2,736	2,837	4,021	2,217	3,925	2,957	5,167	2,425			
環境及び搬送関連事業	643	807	836	1,023	772	661	931	890	793			
破砕機関連事業	552	526	1,667	453	640	673	293	650	280			
製造請負関連事業	229	140	1,297	1,406	1,550	1,043	1,300	909	678			
その他事業	911	1,008	1,034	1,717	922	1,249	1,173	1,757	1,028			
営業利益又は営業損失(△)	△99	368	449	1,250	462	818	267	1,219	△54			
AP関連事業	△92	121	△366	668	179	319	△214	692	△123			
BP関連事業	169	335	401	436	241	507	357	619	277			
環境及び搬送関連事業	126	206	208	253	162	164	285	236	211			
破砕機関連事業	22	34	244	△26	54	42	△92	36	△61			
製造請負関連事業	△16	△16	239	63	229	140	241	35	99			
その他事業	98	93	138	440	37	189	166	324	50			
全社費用	△407	△405	△415	△584	△442	△543	△476	△722	△508			
経常利益	67	388	520	1,169	625	843	403	1,200	68			
親会社株主に帰属する当期純利益	27	321	246	718	337	544	263	865	△61			
営業				4,332				2,994				—
投資				△2,333				△2,805				—
配当	574	—	574	—	574	—	577	—	654	—	—	—
自社株取得				—			—					—

# 事業別受注高と受注残高の推移(累計ベース)

受注高(累計ベース) (単位:百万円)	2023年度				2024年度				2025年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
A P 関 連 事 業	5,227	10,853	14,578	18,948	5,366	11,078	14,938	19,512	4,398			
B P 関 連 事 業	2,502	6,197	9,757	14,323	4,301	7,900	11,305	15,239	2,736			
環 境 及 び 搬 送 関 連 事 業	902	1,738	2,591	3,812	812	1,557	2,367	3,735	1,072			
破 碎 機 関 連 事 業	286	1,881	2,275	3,403	378	944	1,162	1,668	319			
製 造 請 負 関 連 事 業	647	1,739	2,737	3,625	1,873	2,839	3,730	4,388	776			
そ の 他 事 業	1,209	2,717	3,664	4,634	1,305	2,568	3,778	5,072	1,100			
合 計	10,777	25,128	35,605	48,749	14,039	26,889	37,281	49,617	10,404			

期末受注残高 (単位:百万円)	2023年度				2024年度				2025年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
A P 関 連 事 業	9,430	11,666	12,497	8,975	10,595	11,073	11,150	9,006	10,318			
B P 関 連 事 業	6,295	7,456	7,976	8,555	10,639	10,313	10,761	9,528	9,840			
環 境 及 び 搬 送 関 連 事 業	540	570	587	778	818	903	782	1,259	1,538			
破 碎 機 関 連 事 業	491	1,561	287	962	701	593	518	374	413			
製 造 請 負 関 連 事 業	2,241	3,194	2,892	2,375	2,699	2,621	2,212	1,961	2,059			
そ の 他 事 業	987	1,539	1,400	722	1,106	1,119	1,156	694	981			
合 計	19,987	25,986	25,642	22,371	26,560	26,626	26,582	22,826	25,150			

# 設備投資、減価償却費、研究開発費、非財務データの推移

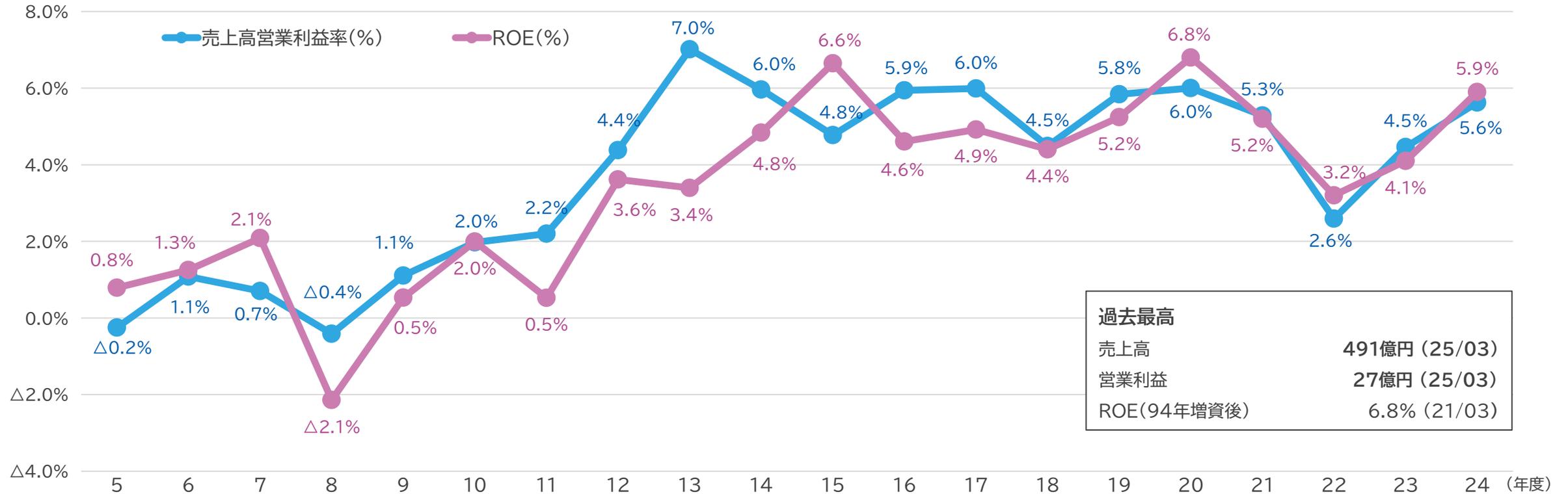
(単位:百万円)	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
設備投資	877	1,261	550	1,889	1,483	2,748	1,907	2,214	2,308	3,042
減価償却費※	487	482	472	508	611	677	745	944	1,023	1,168
研究開発費	227	271	291	211	379	392	449	576	603	671
(単位:人、歳、年)										
連結従業員数	803	797	807	799	838	861	1,038	1,064	1,117	1,133
従業員平均年齢(単体)	42.2	42.3	42.2	40.9	41.1	41.1	40.8	40.3	39.7	39.5
平均勤続年数(単体)	18.2	18.5	18.3	16.0	15.8	15.4	15.3	14.7	14.0	13.8
女性社員数(単体)	39	42	42	45	51	55	59	69	79	90
新卒採用者数(単体)	30	17	19	15	14	13	29	32	32	33
新卒女性社員採用数(単体)	1	2	0	0	0	0	3	6	6	7
女性社員採用割合(単体)	3.3%	11.7%	0%	0%	0%	0%	10.3%	18.8%	18.8%	21.2%
外国人採用数(単体)	0	0	1	1	0	1	0	2	2	5
外国人従業員数(単体)	6	6	7	8	5	5	6	7	14	16
外国人従業員(連結)	94	93	101	98	116	116	194	205	225	197
海外従業員数(連結)	92	91	101	98	123	121	197	214	212	204

※2023年度より減価償却費の算定方法を一部変更し、のれんの償却額を含めて表示しています。2022年度以前の数値にはのれんの償却額は含まれておりません。

## 環境負荷軽減新製品

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2018年度	2022年度	2023年度
新製品名	【砂専用乾燥装置】 【高温予熱バーナ】	【NTB-IIバーナ】	【新型バグフィルタ】	【VPシリーズAP】	【フォームドAS製造装置】	【粉体燃焼バーナ】	【アンモニアバーナ】
環境負荷軽減項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラント生産効率UP</li> <li>省エネルギー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネルギー</li> <li>燃焼領域での燃焼効率UP</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>省スペース</li> <li>省エネルギー</li> <li>排ガス量低減</li> <li>低騒音</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生材の臭気ガス拡散防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中温化合物の製造対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>粉体バイオマス燃料の燃焼を目的</li> <li>バーナ燃焼時の低炭素化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バーナ燃焼時の低炭素化</li> </ul>

## 営業利益率・ROE



(単位:百万円)	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24年度
売上高	22,175	25,035	26,942	23,856	23,971	23,803	24,553	27,087	32,073	30,707	34,110	32,717	35,114	31,780	35,151	37,866	38,846	39,665	44,097	49,162
営業損益	△55	271	189	△98	265	470	541	1,186	2,249	1,832	1,629	1,944	2,103	1,427	2,053	2,302	2,053	1,028	1,968	2,766
経常利益	350	699	545	482	899	812	621	1,108	1,982	1,582	1,648	1,993	2,239	1,576	2,142	2,973	2,274	1,255	2,144	3,071
当期純損益	203	315	513	△499	124	461	122	881	888	1,348	1,896	1,340	1,490	1,345	1,588	2,082	1,649	1,020	1,312	2,009

会社名	日工株式会社 (Nikko Co., Ltd.)		
本社住所	兵庫県明石市大久保町江井島1013-1	海外売上高比率	8.8% (2025年3月期)
創立	1919年(大正8年)8月13日	子会社数	13社 (2025年3月期)
資本金	9,197 百万円 (2025年3月末)	連結従業員数	1,133人 (2025年3月末)
連結売上高	49,162 百万円 (2025年3月期)	企業統治体制	監査役会設置会社 取締役9名(うち社外3名) 監査役4名(うち社外3名) (2025年3月末)
連結営業利益	2,766 百万円 (2025年3月期)		

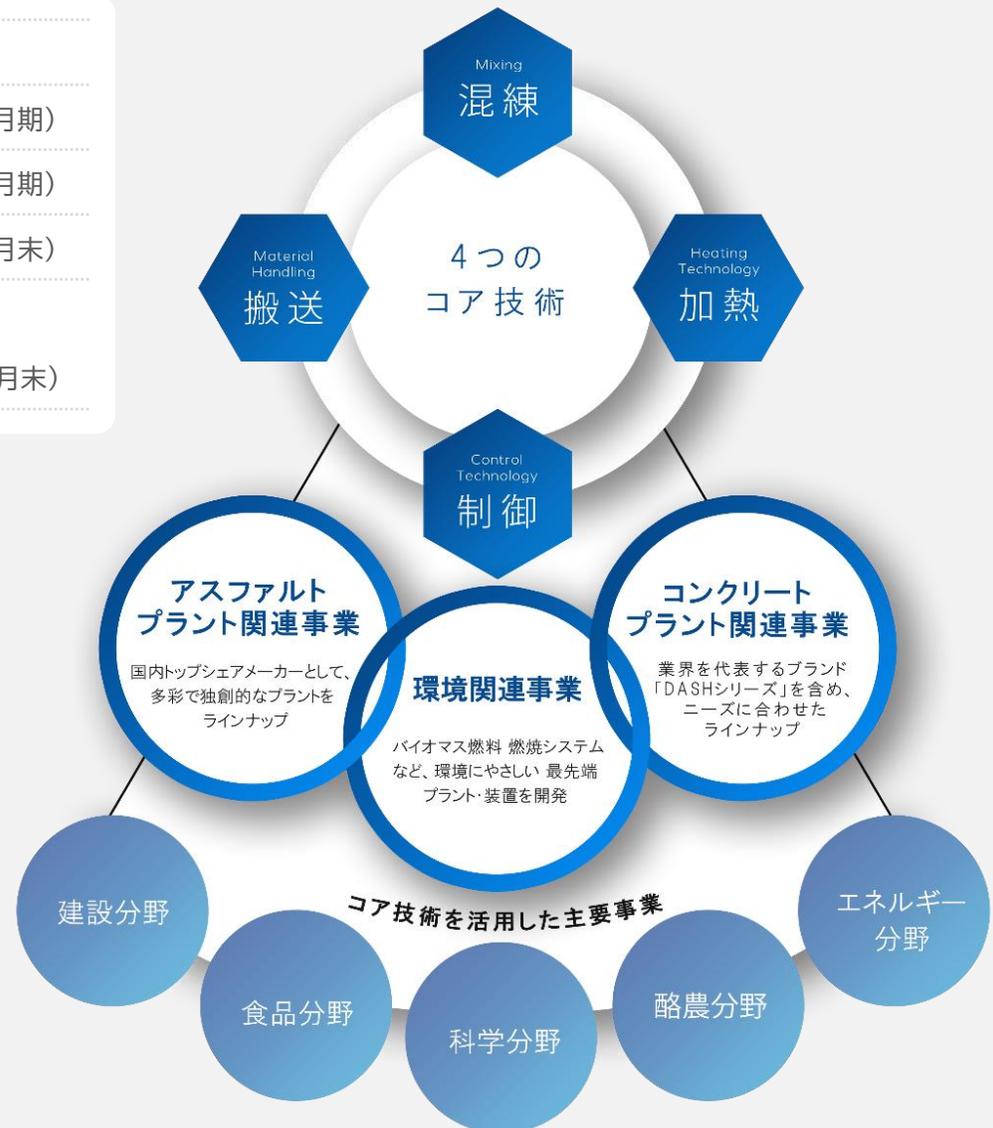
## nからはじまる未来創造



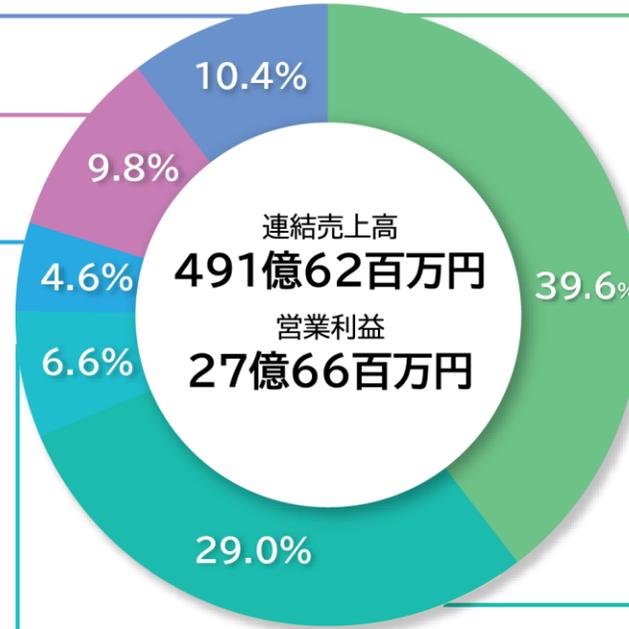
アスファルト・バッチャープラントのリーディングカンパニーとして、「一歩先ゆくエンジニアリングから、社会基盤をアップデートする。」という当社が達成すべきミッションのもと技術革新と品質向上を追求し続け、インフラの維持・発展に貢献してまいります。

これからも「世界を、強くやさしい街に。」というビジョンのもと、持続可能な社会の実現に向けて挑戦を続けてまいります。

取締役社長 **中山 知巳**



## 事業セグメント別売上構成比 (2024年度)



### その他事業:

パイプ枠組足場やアルミ製仮設昇降階段、水門や防水板等の製造・販売を中心に、不動産賃貸等も手掛ける。

売上高	51億1百万円	11 国土開発・建設 事業の推進	6 環境・社会 貢献の推進
営業利益	7億16百万円		
営業利益率	14.0%		

### 製造請負関連事業:

グループ化した宇部興機と松田機工を中核に、各種プラントや産業機械等の設計から製造、製缶加工や組立、据付工事等を手掛ける。

売上高	48億2百万円	9 産業・建設 機械の製造
営業利益	6億45百万円	
営業利益率	13.4%	

### 破碎機関連事業:

移動式モバイルプラント等の輸入販売を手掛け、自社開発の土質改良機を製品化。

売上高	22億56百万円	11 国土開発・建設 事業の推進
営業利益	40百万円	
営業利益率	1.8%	

### 環境及び搬送関連事業:

各種リサイクルプラントやベルトコンベヤ等の製造販売を手掛ける。

売上高	32億54百万円	11 国土開発・建設 事業の推進	9 産業・建設 機械の製造
営業利益	8億47百万円		
営業利益率	26.0%		

### AP (アスファルトプラント) 関連事業:

アスファルトプラントを中心とした製造・販売を行い、国内静態シェアは77.5%。アジア市場を中心に海外展開を強化。

売上高	194億80百万円	11 国土開発・建設 事業の推進	9 産業・建設 機械の製造	13 環境・社会 貢献の推進
営業利益	9億76百万円			
営業利益率	5.0%			

### BP (コンクリートプラント) 関連事業:

国内市場向けにコンクリートプラントを中心とした製造・販売を行い、国内静態シェアは33.6%。

売上高	142億66百万円	11 国土開発・建設 事業の推進	9 産業・建設 機械の製造
営業利益	17億24百万円		
営業利益率	12.1%		

#### 海外売上高比率(%)



#### AP・BP関連事業の メンテナンスサービス売上高比率(%)



注:各事業の営業利益及び営業利益率は、全社費用控除前営業利益です。



土壌浄化プラント  
(環境及び搬送関連事業)

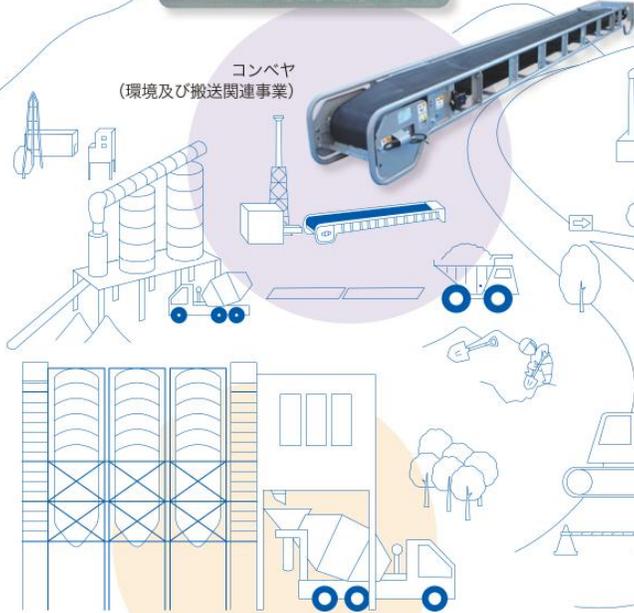


プラント機器の製缶加工 (製造請負関連事業)



自走式破砕機  
(破砕機関連事業)

コンベヤ  
(環境及び搬送関連事業)



プラント機器の製缶加工 (製造請負関連事業)

自走式破砕機  
(破砕機関連事業)



防水板 (その他事業)



コンクリートプラント  
(BP関連事業)



アスファルトプラント (AP関連事業)

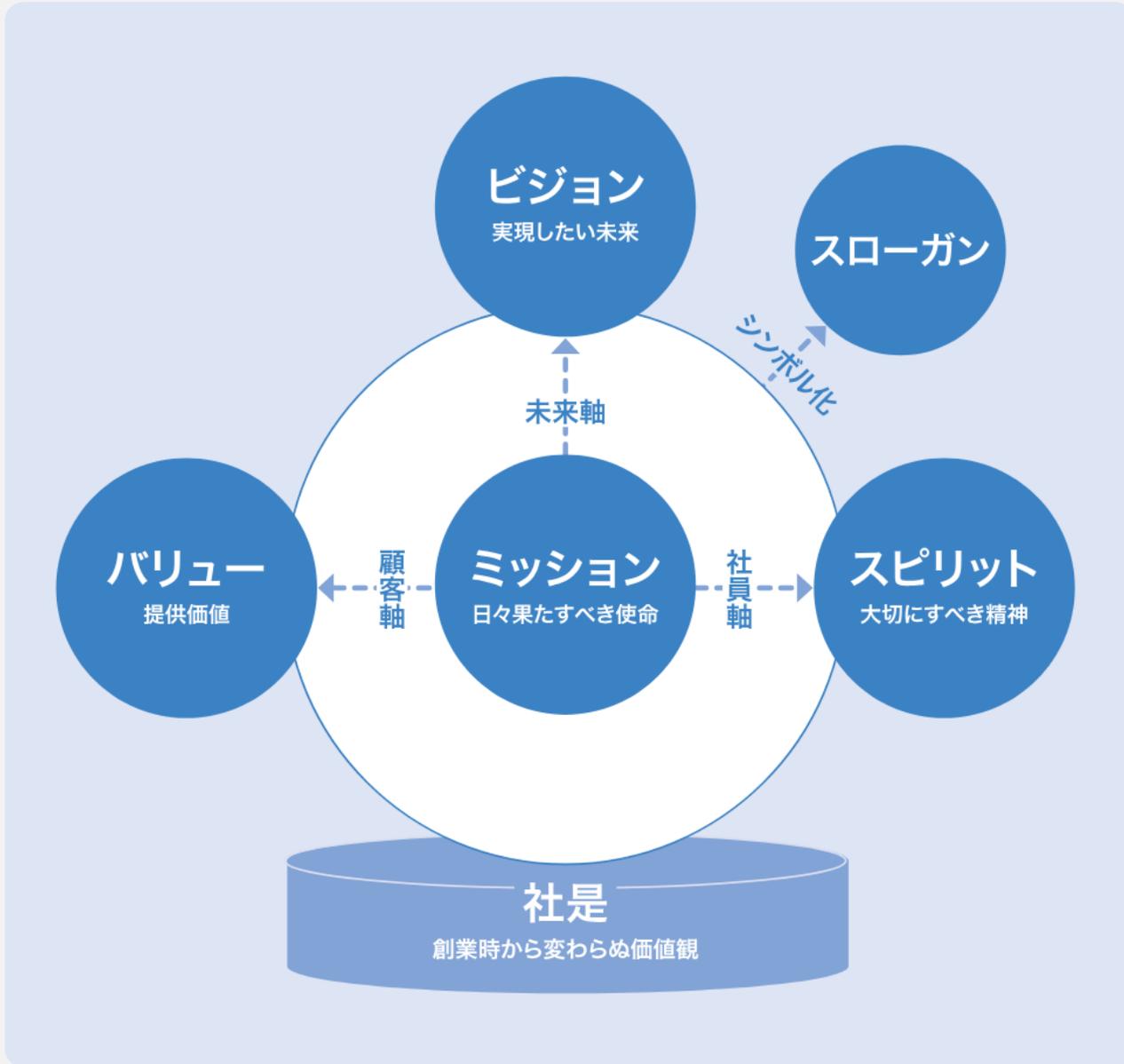


仮設機材 (その他事業)



水門 (その他事業)

製品展開	生産拠点展開	海外展開	国内グループ展開 (買収・譲渡含む)
1919 創立 トンボ印の農土木工具	1919 本社工場	1994 独ニッコーバウマーシーネン	1968 市石工業所 (M&A)
1951 コンクリートミキサー ・ウィンチ	1938 産機工場	1997 台湾台北	1971 日工電子工業 (設立)
1956 生コンプラント	1968 東京工場	2001 日工 (上海) 工程機械	1983 日エマシナリー (設立)
1958 アスファルトプラント	1974 京都工場 (現:日工電子)	2020 Nikko Asia (Thailand) Co., Ltd.	1994 トンボ工業 (設立)
1962 パイプサポート	1994 幸手工場	2020 Nikko Global Manufacturing (Thailand) Co., Ltd. (GMT)	1995 日工セック (設立)
1963 パイプ足場	2004 上海嘉定工場		2002 新潟鉄工所 (事業譲受)
1966 コンベア・搬送システム	2014 加古川工場		2006 三菱重工業 (事業譲受)
1983 水門	2016 福崎工場		2008 前川工業所 (M&A)
2000 油汚染土壌浄化システム	2022 GMT (現:タイ工場)		2022 宇部興機 (M&A)
2001 廃プラスチック処理システム			2023 松田機工 (M&A)
2007 コンクリートポンプ			2024 西日本不動産 (M&A)
2010 防水板			2025 藤原電機製作所 (M&A) (現:日工藤原電機)
2015 移動式破碎機 (輸入販売)			



## 社是

- 一、企業を通じて社会に奉仕する。
- 一、誠実と責任感を持って繁栄に邁進する。
- 一、創意工夫改善に努め適正利潤をあげる。

## スローガン(合言葉)

**N**からはじまる未来創造

## ミッション(日々果たすべき使命)

一歩先ゆくエンジニアリングから、  
社会基盤をアップデートする。

## ビジョン(実現したい未来)

世界を、強くやさしい街に。

## バリュー(提供価値)

1. 全ての製品サービスで、安全安心を追求します。
2. お客様視点で、真の課題を捉え提案します。
3. 社会や時代の先を見すえ、技術を磨き続けます。
4. お客様に寄り添い、未来までサポートします。
5. エンジニアリング力を結集、期待を超えます。

## スピリット(大切にすべき精神)

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 仕事をおもしろくする。 | 7. 相手を想い対話する。   |
| 2. 目的を意識する。    | 8. 仲間を助け高め合う。   |
| 3. アイデアを出す。    | 9. 内外から幅広く学ぶ。   |
| 4. 恐れず挑戦する。    | 10. 嘘なく真摯に取り組む。 |
| 5. 最後までやりとげる。  | 11. 心身のゆとりを持つ。  |
| 6. 時間を大切にする。   | 12. 安全を最優先させる。  |

### 社会課題と業界変化 (リスクと機会)

- ◆ カーボンニュートラルへの対応
- ◆ 廃材の再資源化と循環型社会の確立
- ◆ デジタル化の加速
- ◆ 災害の激化と早期復興
- ◆ 少子高齢化／労働人口の減少
- ◆ ESG に対する意識の高まり

### INPUT (事業基盤)

- 財務資本**  
強固な財務基盤と潤沢なキャッシュ
- 製造資本**  
2030年ビジョンを見据えた設備投資
- 人的資本**  
人員増に加えて、多様性／働き方の改革
- 知的資本**  
コア技術を活かしたビジネスモデル変革
- 社会関係資本**  
ソリューションパートナーとしての信頼
- 自然資本**  
エネルギーと水資源などの有効活用

### 事業活動 (ビジネスプロセス)

中期経営計画(2022~2024)

バリューチェーン

サステナビリティ経営

マテリアリティ	<b>社会のサステナビリティ</b>	<b>日工のサステナビリティ</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆カーボンニュートラルの実現</li> <li>◆資源循環型社会の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆新たな顧客価値の創造</li> <li>◆人材育成と働きがいの向上</li> </ul>
◆ 経営理念	◆ コーポレートアイデンティティ	◆ コーポレートガバナンス

日工グループのミッション(存在意義) 一歩先ゆくエンジニアリングから、社会基盤をアップデートする。

OUTPUT (事業価値)	OUTCOME (社会的価値創造)				
<b>事業の変容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 国内AP関連事業</li> <li>◆ BP関連事業</li> <li>◆ メンテナンスサービス事業</li> </ul> <p>運用・保全サービスの強化</p> <p>×</p> <b>技術を活かした規模拡大</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 海外AP関連事業</li> <li>◆ 環境及び搬送関連事業</li> <li>◆ その他事業</li> </ul> <p>製品・市場の横展開</p>	<b>貢献する社会・環境価値</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 環境に配慮した循環型社会の確立</li> <li>◆ 脱炭素社会実現への貢献</li> <li>◆ 防災減災への貢献</li> <li>◆ 2030年ビジョンの実現を支える人材の「成長」と「活躍」</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自然災害からの早期復旧支援</li> <li>◆ 地域社会との共生</li> </ul>				
	<b>創出する経済価値</b> <table border="1"> <tr> <th>2024年度財務目標</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 売上高 500億円</li> <li>◆ 営業利益 30億円 (営業利益率 6%)</li> <li>◆ ROE 6.0%</li> <li>◆ 配当性向 60%以上継続</li> </ul> </td> </tr> <tr> <th>2030年度財務目標</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 売上高 700億円</li> <li>◆ 営業利益率 10.0%</li> <li>◆ ROE 10.0%</li> <li>◆ 時価総額 500億円</li> </ul> </td> </tr> </table>	2024年度財務目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 売上高 500億円</li> <li>◆ 営業利益 30億円 (営業利益率 6%)</li> <li>◆ ROE 6.0%</li> <li>◆ 配当性向 60%以上継続</li> </ul>	2030年度財務目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 売上高 700億円</li> <li>◆ 営業利益率 10.0%</li> <li>◆ ROE 10.0%</li> <li>◆ 時価総額 500億円</li> </ul>
2024年度財務目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 売上高 500億円</li> <li>◆ 営業利益 30億円 (営業利益率 6%)</li> <li>◆ ROE 6.0%</li> <li>◆ 配当性向 60%以上継続</li> </ul>					
2030年度財務目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 売上高 700億円</li> <li>◆ 営業利益率 10.0%</li> <li>◆ ROE 10.0%</li> <li>◆ 時価総額 500億円</li> </ul>					

世界を、強くやっつけよう。街に。

実現したい未来

2030年ビジョンの達成



一歩先ゆくエンジニアリングから、  
社会基盤をアップデートする。

ミーティングのご希望などございましたら、お気軽に以下宛ご連絡ください

✉ [IR-nikko@nikko-net.co.jp](mailto:IR-nikko@nikko-net.co.jp)

日工株式会社 財務部 IR課 八軒(はちけん)宛

- 
- 当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。
  - 当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、投資判断を決定する場合には、当資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。
  - また、当資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更する事もありますので、ご了承ください。